

# ブックレビュー？ 書評？ その意味を問う

*Kyoto SF Festival 2005*



# ブックレビュー 何の役に立つ？

- ◆ SFマガジンの「SFでてきたあ」(『SFの時代』)  
石川喬司(1963～1977)
- ◆ SFチェックリスト(1979～1992)
- ◆ 小説推理の「ベストSF」(『現代SF最前線』)  
森下一仁(1983～)
- ◆ 奇想天外の「海外SF問題相談室」  
(翻訳のみ)  
大森望(1988～1990)



# 大森望レビューはSFの王道？

- ◆ 読者との間の「内輪幻想の復活」とは  
柳下毅一郎への反論から (Nova Monthly 1990.5)  
→ 「SF」よりも「SF出版」、専門読者を大切に
- ◆ 「海外SF問題相談室」から、  
「新刊めったくたガイド」(1990～)への展開  
→ 何が変わったのか  
頑張り、SF! (1993)  
この10年のSFはみんなクズだ！ (1997)



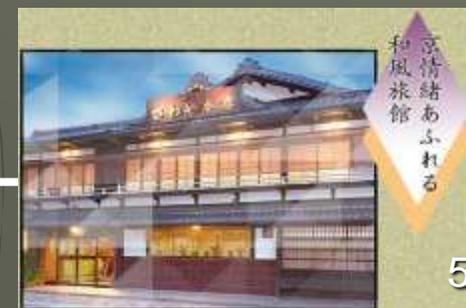
# 大森望レビューは万能か？

- ◆ 大森望はサクセスした？
  - 『文学賞メッタ斬り！』以降
  - 一般読者はどう見ているか
- ◆ 大森レビューは文藝ジャンルに通用した？
  - 同じ方法論ではないはず
  - 想定読者はSFファン？



# 現代SF1500冊

- ◆ 誰が読む(読んだ)のか/反響はあるのか



Kyoto SF Festival 2005

# オンラインレビューは誰が読む？

- ◆ 毎日のレビュー
  - さまざまなblogの存在
  - いわゆるレビューはある？
- ◆ 日々の感想とレビューの違い
  - Thatta Online水鏡子らのレビュー
  - Book Review Onlineのレビュー  
(月間6,000アクセスの読者とは？)



# 内輪幻想の未来

- ◆ もはや内輪ウケは冗談にならない  
→プロ・アマ筆禍事件の系譜
- ◆ 今の時代の「内輪」とは  
→ファンジンのコミュニケーションはある？  
→プロとアマの境界  
→ソーシャルネットワークは「出会い」？  
→一般読者を増やすためには

